

1 計画策定の趣旨

- 令和8年3月策定の「利活用ビジョン」を具体化する計画
- 義務教育学校と相互補完する地域拠点を形成
- 今後の施設設計・整備工事を計画的に進めるために策定

2 跡地の現況と基本方針

- 約18,000㎡、標高447mの高台に位置するまとまりのある土地
- 青少年広場に建設予定の義務教育学校から約500m圏内にあり、連携が可能
- グラウンドを中心に、学校利用と地域利用が共存する地域拠点として整備する方針



3 土地利用とゾーニング

利活用ビジョンを踏まえ、次の4つのエリアを基本として施設配置を検討

①運動エリア

部活動、地域スポーツ等に対応するグラウンド

②健康・多世代交流エリア

親子活動、健康づくりなど幅広い交流の場

③自然エリア

環境学習など地域資源を生かした体験活動の場

④エントランス・駐車場エリア

安全な進入導線と必要な駐車スペースを確保



4 整備方針

①スケジュール

令和10年度から、学校や地域の活動拠点として円滑に利用できるよう整備を推進



②事業費及び財源

- 事業費は、令和8年度の施設設計で整備内容等を精査した上で算定
- 教育施設整備基金に加え、toto助成等の外部財源を積極的に活用
- 維持管理にも配慮し、過度な整備を避けた持続可能な施設整備を推進

5 管理・運営



- 村が主体となり、学校・利用団体・地域住民等と連携
- 利用時間、予約方法、ルール等は供用開始までに検討